



1月から新たに赴任した医師をご紹介します



消化器内科
あおき としのり
青木聡典 医師

昨年まで、名古屋大学医学部附属病院消化器内科で、胆道・膵疾患を専門として診療に従事していました。

代表的な胆道・膵疾患に「膵臓がん」があります。膵臓は最も身体の奥にある内臓であるため、膵臓がんは症状が出にくく早期発見が難しい場合が多いですが、あらゆるがんの中でも予後が悪く、より早期の発見・診断が望ましいと考えられています。膵臓がんの危険因子には、①家族歴 ②糖尿病 ③肥満 ④喫煙 ⑤多量飲酒 ⑥慢性膵炎 ⑦膵嚢胞性疾患 などがあり、危険因子のある方は精査・慎重な経過観察を行うことで早期発見につながる可能性があります。

当院では、CT・MRI・腹部エコー以外に、超音波内視鏡（EUS）によって胃の裏側にある膵臓をより細かく観察することができます。また、EUSでがん組織を採取して組織診断することにより、身体への負担も少なく、迅速かつ確実な治療への移行が可能となります。

胆道・膵疾患の診療をはじめ、地域医療に貢献できるよう精進いたします。身体の不安や検査の希望などがございましたら、消化器内科へご受診ください。



消化器内科
おし の に ゆ い
押谷由衣 医師

大学卒業後、名古屋掖済会病院で2年間初期臨床研修を行った後、消化器内科医として4年半勤務していました。

消化器とは、胃や腸だけでなく、肝臓、胆のう、膵臓といった内臓の総称で、いわゆる「おなか」のことを指します。私たち消化器内科では、腹部診察や内視鏡検査、超音波検査などを用いて、そうした内臓の異常の発見・治療に努めています。

しかし、特に内視鏡検査では、恐怖や恥ずかしさから、おなかの不調を感じながらも、検査をためらっている間に症状が悪化してしまうケースが少なくありません。がんに限らず、早期発見できれば手術や入院をせずとも、内視鏡治療、外来での薬物治療で治癒を目指す場合があります。これまで受診や検査に抵抗のあった患者さんにも安心して気軽に受診いただけるよう、一人一人に寄り添った医療を心掛けてまいります。

また、内科医として一般内科、検診などの診療も行っており、微力ながら地域医療に貢献したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



大地震発生時の車での避難について

2011年3月11日、東日本大震災が発災し、東北地方や関東地方に大きな被害をもたらしました。

大地震発生時、警察は「緊急交通路の確保」を行うため、許可車両以外の車は通行できなくなります。

車で避難をすると、道路損壊や余震によって走行できなくなり、車両が道路を塞ぎ緊急自動車の通行を妨げる恐れがあるので、車での避難は控えるようお願いします。

また、運転中に大地震が発生した場合には、車を道路の左端に寄せエンジンを停止し、窓を閉め、エンジンキーを差したままの状態、もしくは車内の見える位置に置いて避難してください。

※大地震の発生時は、携帯電話やスマートフォンは通信ができなくなる恐れがあります。地震情報を知るには、ラジオが有効です



いなざわふれあい通信

市政情報やイベントなどを映像でお伝えする番組を、稲沢CATV (TOP TOWER) と西尾張CATV (クローバーTV) で放送しています。

放送中の内容は市ホームページで視聴できるほか、過去の内容は秘書広報課・支所・図書館でDVDを貸し出しています。

こちらから
視聴できます



放送内容

3/1 ~ 15 … 稲沢市サポートブック
3/16 ~ 31 … ウォーキングでからだづくり

放送時間 (10分番組)

稲沢CATV…6:50、9:50、10:50、11:50、14:50、
17:50、20:50、21:50
西尾張CATV…8:45、14:15、17:45、20:45



私たちが
レポートします!

ほしあいめい

松田華奈

セントラル愛知交響楽団公開企画 公開講座・公開リハーサル

演奏曲や作曲家について面白く解説する公開講座です。プロのオーケストラが本番に向けて曲を仕上げていく過程をご覧ください。

リハーサル中は、ここでしか聞けない解説をラジオで実況中継しますので、興味のある方はイヤホン付きのFMラジオをお持ちください。

時 3月10日(金)

- ①公開講座…午前10時30分 (午前10時15分開場)
- ②公開リハーサル…正午 (午前11時30分開場)

場 ①小ホール②中ホール

定 200人 (先着) ※未就学児の入場不可

出演 セントラル愛知交響楽団、マーシー山本教授



市民文芸 短歌

伊藤英一 選

特選
厳寒に戦火のやまぬウクライナ戦中を生きし吾等悲しき
今ここに生きる喜び噛みしめて四代揃う年賀の集い
入選
枇杷の木の花房ゆらす木枯らしに熱きココアが飲みたくなりぬ
雛あられ春の祝ひの桃の花老いし夫婦がをさなこのごとく
同じ月生まれのと妻と誕生の好き日選びて互いに祝ふ
中山忠義 (奥田町)
初日の出光かがやき世を照らす両手合わせて合せていのる
森本泰子 (祖父江町本甲)
朝霧が山肌下る熊野古道風伝下ろしにすすきが揺れる
堀田志津子 (稲葉二丁目)
児等集い静かな我が家が教室に元気な書き初め希望の春と
島田民子 (東畑五丁目)
「初デート何処行っただけ」我と妻こたえが違ふ四十年前
山田真人 (祖父江町本甲)
カサコソコン何処かで音する船の旅眠れぬ一夜デッキで星見る
鶴飼由子 (赤池南町)

内笹井さん…ウクライナの戦火も悲しいが、自分もかつて戦火の中を逃れたという思い。
桜井さん…四世代で新年を迎えた喜び。「生きる喜び噛みしめて」が大変良い。

募集 (5月号短歌 当季雑詠)

▶締切日 3月15日(水) ▶応募方法 住所・氏名を記入の上、郵送 (〒492-8269 住所不要)、FAX (23-1489)、Eメール (tanka@city.inazawa.aichi.jp) で秘書広報課へ ※はがき1枚につき2首まで